〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 4-2-2　　TEL/04-2964-2511　FAX/04-2964-2519
E メール/ center@machisapo.com　http://iruma-skc.seesaa.net/

初年度の市民提案型協働事業 の報告会が開催されました ・・・3/17(木) 午後1時 30 分～3時

平成 22 年度の市民提案型協働事業を実施した 3 団体による事業報告会が市民活動センターで開催されました。

東日本大震災や計画停電への対応で、大変な時期での開催でしたが、①いるまお茶パラ実行委員会、②いるま介護保険わかろう会、③NPO 法人親子学の 3 団体から、それぞれの協働事業について報告がありました。参加者は全体で 25 名でした。

各団体は発表 10 分、質疑応答 5 分の与えられた時間内で報告し、そのあと全体での質疑、意見交換を行いました。予定された時間をオーバーして、活発な質疑・意見交換の後に終了しました。事業報告の後、今年度事業に対する評価のための審査委員会が開催され、継続事業の可否も含めて、報告各団体には評価結果が通知され、入間市のホームページで公表される予定となっています。

■楽しく脳トレお茶パラ体操 いるまお茶パラ実行委員会	・入間市の介護事業の事後フォロー事業として、市の事業を市民で広報するという目的で、ボランティアが参加して情報の提供ができた。 ・高齢者福祉課に情報提供の場を提案し、1 時間 30 分のプログラム(同じ内容のもの)を 3 回実施し、延べ 142 名が参加した。 ・プログラムの内容は、1)市からの情報提供 2)英語で楽しく脳トレ 3)お茶パラ体操で、広報活動で楽しく体験活動を行った。 ・その結果、今後の介護予防事業へのボランティア参加に興味ある人、「英語で脳トレ」や「お茶パラ」に興味があり、やってみたい人が出た。 ・途中のお茶の時間は狭山茶をゆっくり楽しんだが、重要な時間であった。
■認知症サポーター養成講座フォローアップセミナー ～支える人を支えたい～ いるま介護保険わかろう会	・認知症の介護について地域で何ができるか考えてもらう目的で事業を行った。 ・講座を 3 回実施し、延べ 255 名の参加者を得た。 ・要約筆記と手話通訳を用意できたので、聴覚障碍者も参加できた。 ・高齢者福祉課との打ち合わせで、共通の目的、協働の原則、情報の公開と共有化、役割分担、協働の成果(所有権、公開権など)について話し合った。 ・配布資料として配布冊子 200 部×36 ページ、当日配布資料 1,100 枚を印刷した。受講者からはこれで良くわかったとの評価を得た。 ・本来 5 回で行う講座を 3 回分にまとめて実施したので、参加者が疲れた面もあったように思う。今後も人のつながりを大切に、情報交換していきたい。
■親の子どもへの接し方講座 NPO 法人親子学 親と子の心を結ぶ絆づくりの会	・親の役割は何かを知り、その役割を効果的に果たせるように、伝え合う力、聴く力、対人関係を良好に保つためのトレーニングを行った。 ・児童福祉課との協働事業で、3 回の連続講座を実施し、募集 20 名に対し 11 名が応募、延べ 29 名の参加者を得た。 ・しつけとして子供を叩くことで解らせようという親の虐待を防ぐきっかけになり、ひとりで子育てしている親同士の仲間づくりの場や家庭に持ち帰っての活用、ロールプレイで親の「子どもの気持ち」への理解が進んだことなど、アンケートで手ごたえを感じた。 ・反省点としては、募集枠に対して応募者数が少なかった。

自治会向けのパソコン講座 を開催しました　2月19日･26日 3月5日 10時～12時

自治会の会計担当者を対象として、会計報告をパソコンで作成する講座を「駿大ふれあいハウス」で開催しました。

各自治会から会計担当者７名が参加し、表計算ソフト「エクセル」の基礎から「決算報告書」のひな形の編集とデータの入力までを３回シリーズで行いました。受講されたみなさんは全員、３回シリーズを欠席することなく大変熱心に受講されました。

第１日目は、まちサポが作成したテキストに基づいてエクセルの概要、データの入力・セルの編集などの基本的な知識を身に付けました。

第２日目は、１日目の復習、まちサポが作成した「収支計算書」のひな形の説明を行いました。その後説明に沿って入力していただき、収支計算書のひな形の仕組みを理解しました。

第３日目は「収支計算書」のひな形を自分の自治会に合うような編集や、「出納帳」の入力が「収支計算書」に反映されることを確認しました。

終了後のアンケートで参加され方から以下のようなご意見をいただきました。
・講師３名で７名の受講者でほぼ満足する内容だった。
・同じ型式・環境のパソコンだったので進めやすかった。
・決算時期であったので時間的にタイムリーであったと思うがアナウンスを早めにすればもう少し参加者が増えたかもしれない。（来年度は早めにアナウンスが必要）
・決算書の科目のカスタマイズを分かりやすくしておく必要がありそうである。
来年度はさらにより良い講習を数多く企画してゆきたいと考えています。

会場の駿大ふれあいハウス（映画館のあるビルの２階です）

活動団体紹介

このコーナーでは、市内で活動する団体の皆さんに登場いただき、活動内容やイベント情報の提供をしています。

悠 友 会

代表：奥田正人　TEL2965-7116
Ｅメール：iruma.okuda@nifty.com

こんにちは。悠友会代表の奥田です。この紙面をお借りして悠友会の紹介をさせて頂きます。

悠友会は、入間市生涯をすすめる市民の会が主催した、平成２０年度の「第６回市民のいるま塾」に参加した受講生のグループです。会員構成は団塊世代が中心で男性９名、女性１３名、計２２名のグループです。

会の目的は「会員相互の交流と親睦を深め、心身ともに健康で豊かな楽しい生活を営むとともに、趣味やキャリヤを活かし、地域社会に貢献すること」としています。簡単に言えば「生涯学習を楽しむ会」です。

会員が体験したいことや、興味のあるもの全てを対象とした活動とともに社会貢献に繋がる活動を実施しています。

活動は概ね月１回を基準に、会員相互が企画実行を担当します。年会費は保険料を含め１,０００円です。

活動内容は、入間市及び近郊の四季の折々の花めぐりのウオーキングや里山散策に併せて史跡探訪、文化財の鑑賞の野外活動の他、歴史講座、プラネタリウム観賞、そば打ち体験等も実施しました。

また、社会貢献の一環として、入間万燈まつりの環境美化ボランティアにも参加しています。

会の発足当初は、入間市周辺での活動が主でしたが、今年度は、少し足を伸ばして遠方にも活動するようになりました。

最近、実施した活動は『湯島天神の観梅』と題して、「お茶の水駅から御茶ノ水の碑、聖橋、湯島聖堂、神田明神、湯島天神、麟祥院、東大構内、旧岩崎邸、上野公園を経て上野駅へのぶらり旅」を実施しました。

東大赤門前

国分寺:殿ヶ谷戸庭園

このような「悠友会」ですが、自分も入会していっしょに活動をしたいなぁと思われる方は、標記代表者まで、電話又はメールを下さい。
入会を歓迎します。
もちろん入会金は無料です。

「アフリカへ毛布を送る運動（JBAC)」

代表：反町　博　TEL2966-1578
〒358-0003　入間市豊岡 2-3-44

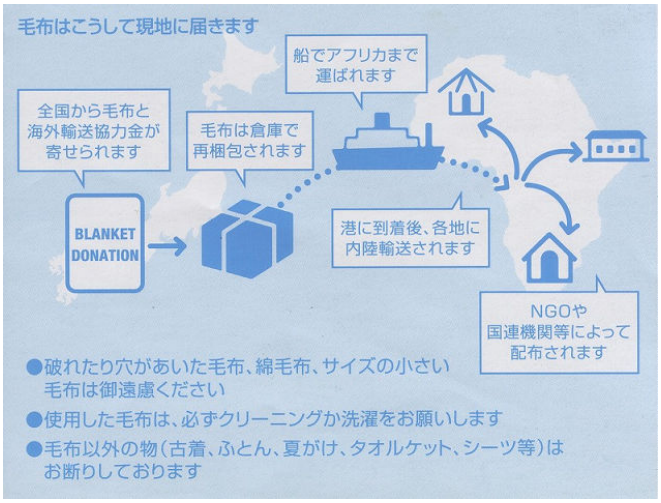
アフリカへ毛布をおくる運動の推進委員会は、「みなひとつの大いなる命の中に生かされている。だからこそ心を繋ぎ会い、認め合い、支え合ってゆこう。」をテーマに全国規模で活動しています。

1984 年から毎年４月１日～5 月 31 日の２ヶ月間にアフリカへ毛布をおくる運動を、市民の皆様の暖かいご理解とご協力をいただいて実施しております。

集まった毛布は、海外輸送協力金で現地の NGO や協力団体に送られます。10 月～11 月に日本のボランティア隊の手で、主にエチオピア、マラウイ、ウガンダ、ソマリア、スーダン、モザンビーク等の難民者らに、手渡されています。

これまでに 400 万枚以上もの毛布が送られていますが、まだまだアフリカ各地においては、毛布を必要としております。

入間市においては、本部からの情報を得て、手伝っていただける方に会員が毎月１回伺ってお願いしている状況です。なお、本年度については、東日本大震災救援のため、例年実施している各公民館での収集は未定になっております。



毛布１枚が日本を出発して現地の人々の手に届くまでに 1,000 円かかります。毛布をご提供くださる方は、この資金についてもご協力ください。

なお、この運動への参加方法は、
①毛布提供＋海外輸送協力金（1,000 円）
②海外輸送協力金（1,000 円）
③毛布提供
の３通りがありますので、ご支援ご協力をお願いします。

センターからのお知らせ

◆センター利用者連絡会を開催しました

3/26(土)に開催された第２回センター利用者連絡会（団体交流会第２部）には、21 団体の 40 名が集まりました。事務局から運営委員会での検討状況が報告され、団体からは「メールボックスの低いところは使いにくいので高さも配慮してもらいたい」、「コミュニティカフェの午前中利用はできないのか」等の要望が出されました。

審議の結果以下のようになりました：

１）ロビーに設置されたメールボックスの整理は年度切り替え時に行うと伴に、高さについても考慮を行う

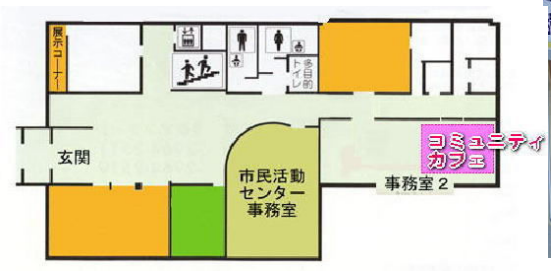
２）センターロビーの間伐材椅子４台を購入する＜写真下＞

なお、印刷室の用紙配備およびコミュニティカフェの午前中の利用の要望については、運営委員会で継続検討することになりました。23 年度も引き続き、皆さまのご協力をお願いします。

＜コミュニティカフェをご利用下さい＞

この１年間に 28 団体の延 272 名が利用しました。
まだまだ利用が少ないので、ぜひ活用して下さい。（ロビー入って一番奥です）

時間：平日 13 時―17 時
対象：センター登録団体
予約：不要
機器：PC、インターネット
　　プリンター
お茶：セルフで



＜間伐材利用の椅子４台＞

◆平成23年度の市民提案型協働事業について

２月８日に平成 23 年度の市民提案型協働事業の募集説明会を実施しました。午後２時と午後７時の２回の説明会で計 14 名の出席がありました。その後、２月９日から３月８日までの期間で募集したところ、平成 22 年度からの継続事業が２件、新規の自由提案事業が７件、テーマ設定提案事業が３件の計１２件の応募結果となりました。

これら１２件の提案された事業のうち、継続事業の２件については４月中旬に継続の有無を決定しますが、その他の１０件については、以下のスケジュールで実施する事業を決定していきます。

- ４月１３日（水）　第１次審査（書類審査）
- ５月１４日（土）　第２次審査（公開プレゼンテーション）
- ５月下旬　事業の決定
- ６月　事業の最終調整＆契約書の締結

事業の実施期間としては平成 24 年２月末までとし、３月中旬には事業報告会で事業結果を発表していただきます。

市としては、この制度が２年目を迎えるにあたり、平成 23 年度の応募件数も大幅に増え、今後の協働事業の進展に大きな期待をしています

※今年度の応募状況は、以下をご覧下さい。

http://www.city.iruma.saitama.jp/kyodo_jigyo/heisei23nenndosiminnteiann.html